

平尾中学校だより

校訓 英知 礼節 練磨



平成29年1月10日

NO. 7

福岡市立平尾中学校
校長 北御門 毅

謹賀新年



2017年（平成29年）が始まりました。

冬休みも終わり3学期が始まりました。平成28年度のまとめの学期です。3年生にとっては、入試に向けて最後の努力を期待しています。2年生は修学旅行・立志式が待っています。1年生は、次年度に向けての準備をしっかりとしましょう。みんなで協力して素晴らしい平尾中学校をつくっていきましょう。また、福岡市中学校新人体育大会でも多くの部活動が市大会や県大会に出場を果たし、活躍しています。今後の活躍が楽しみです。

【さかなクンから中学生へのメッセージ】

2学期の終業式での内容を改めて紹介します。

「広い空 広い海」

さかなの世界にもいじめがある。小さな学校のなかにも。せまい社会のなかにも。

中学1年生の時、吹奏楽部で一緒だった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。

いばっていた先輩が、3年生になったとたん、急に無視されたこともありました。突然のことで、ぼくにはわけがわかりませんでした。

でも、さかなの世界と似ていました。たとえば、メジナというさかなは、海のなかで仲良く泳いでいます。せまい水槽と一緒に入れたら、一匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。ケガをしてかわいそうで、そのさかなを別の水槽に入れました。すると、残ったメジナは、他の一匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子がでてきます。いじめっ子を水槽から出しても、新たないじめっ子があらわれます。

広い海のなかならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめるとなぜかいじめが始まります。同じ場所にすみ、同じエサを食べる、同じ種類同士です。

中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに、「なんで？」ときけません。でも、仲間はずれにされた子とよくさかなつりに行きました。学校から離れて海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。

話を聞いてあげたり、励ましたりできなかつたけど、だれかが隣にいてくれるだけで、安心できたのかもしれない。

ぼくは変わり者ですが、大自然のなか、大好きなさかなに夢中になっていたら、いやなことも忘れます。

大切な友達ができる時期、小さなカゴのなかでだれかをいじめたり、悩んでいたとしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのに、もったいないですよ。

広い空の下、広い海に出てみましょう。

